

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



- ◇高齢社会に対応したまちづくり
- ◇マンション対策を推進せよ
- ◇特別支援教育の報告書について

高齢社会に対応したまちづくりを

質問 子どもと高齢者の交流事業を推進していく考えはあるか。

市長 今後も、あらゆる機会を通じて高齢者の参加促進を図り、交流の場を広げていきたい。

質問 複合型小規模多機能施設の現状と今後の対応について。

市長 事業者が参入した際には、施設



▲6月に行われた「高齢者レクリエーションのつどい」の様子

設のサービス内容等について、介護サービス計画を作成する居宅介護支援事業所や市民の皆様へ情報提供し、定員確保に向けた支援を行っていく。

質問 サービス付き高齢者向け住宅制度への取り組みについて。

市長 サービスの選択肢が増えることは望ましい。今後、市民ニーズの把握と、事業者の参入促進を図る。

マンション対策を推進せよ

質問 市内の共同住宅・マンションの実態を把握する必要があるのでは。

市長 マンション等の共同住宅も増加していくものと捉えている。その動向を注視しながら必要に応じ実態の把握に努めていく。

質問 防災でのマンション管理組合等の支援について。

市長 防災マニュアルづくりや防災訓練の実施など、マンションの防災対策強化のための支援に取り組む。

質問 耐震診断、耐震改修の助成制度をマンションにも適用しては。

市長 都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守るためにも、マンションに対する耐震診断と耐震改修の補助制度については重要であると考え。現段階では、国および東京都の補助制度や先進事例の情報収集に努め、調査研究していく。

○その他、特別支援教育の報告書に示された内容を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方について質問しました。

はせひら こうぞう
馳平 耕三 議員
(民主党)



- ◇急速な高齢化にどう備えるか
- ◇教育施策の進ちよく度を問う

急速な高齢化について

質問 現在、特別養護老人ホーム等の入所待機者は何人いるか。また、急速な高齢化に伴う待機高齢者の増加にどう対応するか。

市長 平成22年10月時点で、羽村市の待機者は75人である。今後の対応については、介護サービスの需要を的確に把握し対策を講じる。

質問 エイジング・イン・プレイスを目指し、高齢者の尊厳を守り、自立を支援する環境を守るため、どのような具体策を考えているか。

市長 地域包括ケアの考えに基づき取り組むとともに、施設サービスと

在宅サービスのバランスの取れた利用を促進していきたい。24時間対応の訪問サービス等について、市民ニーズの把握に努め、事業者の参入促進を図る。

質問 急速な少子高齢化に伴い、2005年度と比較して、2035年度の歳入・歳出など財政に与える影響は。

市長 社会経済情勢に伴い変化するので確定的な数値は推計できない。しかし、行財政改革を推進し、財源の確保に努め、健全で安定的な財政運営に努めていく。

教育施策の進ちよく度について

質問 シラバス(学習内容一覧表)の策定は進んだか。

教育長 各学校において策定し活用している。

質問 エビペンの各学校への配布と、教員・保護者への講習は進んだか。

教育長 家庭の判断として携行させるもので、教育委員会として各学校に配布するものとは考えていない。

質問 囲碁や将棋は、市内の小中学校でどう利用されるようになったか。

教育長 現在囲碁・将棋については、3つの小学校でクラブ活動として行われている。今後もその効果について情報提供していきたい。

質問 小中一貫教育で、中学生の不登校は減ったか。

教育長 2校で減少、1校で増加し、市内全体ではやや減少している。

共通番号制度で

個人情報はどうなる

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が成立した。すべての国民と外国人住民に番号を付け、税や社会保障の個人情報を行行政が一元管理できる共通番号制度が始まる。新たな情報ネットワーク構築のため、2千700億円の税金が使われる予定だ。

共通番号制度で

個人情報はどうなる？

世界では、なりすましや個人情報漏洩による犯罪も多発していて、各国の社会問題となっている。

質問 共通番号制度による市民のメリット・デメリットは何か。

市長 社会保障や税に関する情報が一元的に管理できるようにするため導入されるものであり、行政事務が効率化し、姓が変わっても継続して記録管理が行えるようになる。

様々な機関の情報をネットワークでつなぐため、所得状況や健康状態といった重要な個人情報の保護に万全な体制の構築が課題である。

質問 プライバシーはどのように守られるのか。

市長 個人番号の利用範囲が規定されており、個人番号付きの個人情報の収集、保管、提供等が原則として禁止されており、特定情報保護委員会の設置、罰則の強化などのプライバシー保護のための対策が盛り込まれている。

質問 準備はどのように進めるのか。

市長 個人番号の利用範囲が規定されており、個人番号付きの個人情報の収集、保管、提供等が原則として禁止されており、特定情報保護委員会の設置、罰則の強化などのプライバシー保護のための対策が盛り込まれている。



▲市役所1階窓口

市長 国から詳しい情報が届いていないが、関係機関と連絡調整を図る。

道路照明灯の省エネ化について

質問 道路照明灯の省エネ化はどのように進められるのか。

市長 道路照明灯は合計で3千357基設置しているが、今後の更新で省エネタイプに切り替えていく必要がある。LED照明やセラミックメタルハライド照明などの省エネ機器を比較検討し、リース方式契約も検討していく。

※エイジング・イン・プレイス：高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けていく地域

※エビペン：食物アレルギー症状に対する緊急補助治療の医薬品



▲エビペンの使用法等の説明書

いん なみ しゅう た
印南 修太 議員
(新公会市民クラブ)



◇次世代につながる
市の商業活性化について

次世代につながる

市の商業活性化について

羽村市をより魅力あふれる街にして、次の世代につながるものが我々の重要な使命であり、商業の活性化も課題の1つとして、以下質問する。

質問 西口の区画整理事業について、環境に配慮した街づくり、そして観光の玄関口という新たな西口のコン

セプトに商店街(5〜7店ほど)をつくる計画はあるか。

市長 羽村駅西口地区の商業活性化については、羽村市産業振興計画・商業振興計画および羽村市中心市街地活性化基本計画の中で、多摩川や玉川上水などの観光スポットとしての誘導、民間事業者等の出店誘致による商業集積の形成、都市サービス機能の誘致などの視点により、新たな商業振興を目指すこととしている。これに合わせ、現在、市街地の再編整備事業として、羽村駅西口土地区画整理事業を進めている。

質問 事業は今、どの段階にあるか。

市長 現段階では、事業の骨子となる換地設計の決定段階に至っている。この事業では、人と環境にやさしいまちづくりをコンセプトに、安全性に配慮したまちづくり、福祉に配慮したまちづくり、コミュニティに配慮したまちづくり、景観に配慮したまちづくりの4つを柱とし、総合的なまちづくりを目指している。今後、



▲羽村駅西口の様子

環境と観光に配慮した街づくりについても検討していきたい。

質問 羽村PR作戦について、観光(PR)課を新設し、専門的に進めてはどうか。

市長 観光施策やPRについては、市が観光課を新設し先導するのでは

なく、各関係団体と相互に連携を図りながら具現化を図っているところである。市としては、将来的には観光協会が自立した組織として活動していけるよう、法人化に向けた支援を行っていく。

ふなき よしのり
船木 良教 議員
(新公会市民クラブ)



◇スポーツ施設について
◇生涯学習について
◇その後の治安対策について

スポーツ施設について

質問 少年サッカー場の整備は以前より要望しているがいかがか。

教育長 少年サッカー場の整備は、本年度策定予定の「羽村市スポーツ推進計画」で検討していく。

質問 整備にかかる財源確保についてはいかがか。

教育長 スポーツ振興くじなどの助成金や国の補助金、東京都の交付金の活用も考えられる。

質問 サッカー場建設に関する課題は何か。

教育長 建設用地確保、建設費用の問題で、複合施設としての設置が望まし

い。

質問 フットベースボールなどの、青少年対象の球技場所についてはいかがか。

教育長 現在、それぞれの団体で協議して、自主的に宮の下公園や富士見公園などを共通利用していることから、教育委員会も側面から支援していく。

質問 住宅用地として確保されたままの小作台5丁目の空き地を整備してはどうか。

教育長 現在、全庁的な意見集約を行っている。平成25年度の早い時期に取りまとめ、球技場所としての利用方法も検討材料としていきたい。

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
(日本共産党)



◇保育園待機児をゼロにしよう
◇「税金が払えない」の声にこたえて
◇公共料金値上げストップ その①

保育園待機児をゼロにしよう

質問 保育園の待機児童の現状は。

市長 今年の5月1日現在で、5名である。

質問 認可保育園への入園を希望したが、入れなかった子どもは何人か。

市長 58名である。

質問 数字に違いがあるのはなぜか。

市長 特定の保育園を希望するなど、個人的理由で待機している場合や、

すでに他の保育サービスを利用している場合には、待機児童に含めていないからである。

質問 待機児童を解消するために、どのような方針、計画で取り組むか。

市長 待機児童数の多い0歳から2歳までの定員拡大と、良質な保育環境を提供するため、民間認可保育園の園舎整備への支援を行っていく。25年度に1園、26年度に2園、27年度に2園が建て替えの予定だ。

質問 認証保育所、認定こども園などは認可保育園に比べ利用料が高く、利用者には補助金が必要ではないか。

市長 それらの施設では、特色ある保育を行っており、その付加価値分が料金に反映されている。公平性の面からも補助制度の実施は考えていない。

「税金が払えない」の声にこたえて
質問 税金の滞納状況はどうか。

市長 市民税個人分(23年度決算)では、滞納者数延べ3千186人、約2億5千482万円である。

質問 減免制度はどのようなケースで認められるのか。

市長 生活困窮者に対する減免、障がい者に対する減免などがある。

質問 消費税増税が実施されれば、市民負担が大きく増える。より利用しやすい減免制度にするべきではないか。

市長 福生署では、小作駅周辺を取り締まり重点地区と位置づけ強化し、

その後の治安対策について

質問 違法駐車や客引き行為への対策はどうか。

昨年7人逮捕している。さらなる強化の要請と防犯カメラの設置を予定している。昨年の小作駅周辺の110番通報は合計で約450件あり、交通事故・駐車違反が約190件、けんか・口論等が約130件、客引き行為が約80件、暴行・傷害・その他が約50件と聞いている。今後、青梅市との連携や青梅警察署への取り締まり要請等についても強く働きかけていく。また、平成25年度から27年度まで、羽村駅周辺および小作駅周辺に防犯カメラを設置することを計画している。

○その他、「生涯学習について」質問しま



▲7月に行われた「少年少女球技大会」の様子